

【新刊】『弁護士のための離婚調停&相談の実況中継～だから身に付く現場の経験知～』発刊！

本来非公開の離婚調停や離婚相談の様子を、実況中継のように解説した唯一の書！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）が、『弁護士のための離婚調停&相談の実況中継～だから身に付く現場の経験知～』を、2023年1月20日に発売しました。



商品紹介ページはこちら

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104594.html?utm_source=prtmes

amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474078519>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17364580/>

「離婚調停で代理人が果たすべき役割について、指導を受けた経験がない・・・」こんな不安、もたれていませんか？離婚調停での代理人活動は、訴訟などとは異なる特殊なスキルが求められるのに、学ぶ機会がほぼないのが実情です。

本書は、離婚調停や離婚相談の場面で繰り広げられる実際の会話をもとに解説しているため、依頼者への対応や受け答えのような、法律的な知識だけではないスキルも身に付けることができます。本来非公開の現場を実際に見学しているように理解できる一冊です。

【本商品の特長】

1. 会話形式での解説だから、本来非公開の離婚調停や離婚相談の様子を実際に見学しているかのように理解できる！
2. 法律的な知識のみでは分からない“経験知”や“現場の臨場感”を身に付けられる！

#2 離婚調停期日でのやりとり実況中継

事例1

共働き・子どもなしの夫婦で夫の暴言などを理由に離婚を求めるケース

【調停に至る経緯】

依頼者は長崎志保さん（34歳：女性）。夫は36歳で結婚して4年になる。

夫とは結婚相談所を通じて知り合い約半年の交際を経て結婚。子どもはいない。

結婚後は共働きの状態で、それぞれ同じくらいの年収を得ている。結婚して半年ほどした頃から家庭内での言い争いが増えてきた。

依頼者としては関係を改善するために努力してきたつもりだが、状況は悪化し、夫から怒鳴られたりすることで心身に不調を来し、約2年前に家を出て別居した。

やり直すことも含めて考え、話し合いを試みたが、夫は自分は悪くないというばかりで関係修復についても、離婚についても話し合いは平行線のままだった。

そこで依頼者としても離婚するしかないと結論に至り、法律相談に訪れた。

離婚に向けて代理人弁護士から受任通知を送付し、話し合いを試みたが相手方からは一切返答がなく、離婚調停の申立てに至った。

（第1回調停期日）

調停の開始時刻が午前10時に指定されていたので、10分前に家庭裁判所の申立人待合室で依頼者と待ち合わせる。【図2-1】

依頼者は待合室の混み具合に驚いた様子である。

不安そうな表情を浮かべている依頼者と話をしながら待っているところ、調停委員が呼びに来たので調停室に向かう。【図2-2】

【1回目】

男性調停委員 長崎志保さんですね。調停委員の山田といいます。

女性調停委員 同じく調停委員の佐藤です。【図2-3】

弁護士 よろしくお願ひします。

私たち2人と裁判官の3人で調停委員会というものをつくって、長崎さんの事件を担当させていただきます。ただ、裁判官は他の事件も同時に担当していますので、基本的には私たち2人がお話を伺って、裁判官と共有させていただくのでよろしくお願ひします。今日は初回の期日ということで、いつも調停に関する手続の説明などを行うのですが、代理人がいらっしゃるので省略させていただいてよろしいですか？

はい、結構です。

はい、それでは何かわからないことなどあれば、先生にでも、私にも何でも遠慮なく聞いてください。

解説

1 裁判所によっては、待合室に入る前に書記官等で受付を行う場合もあるので確認しておく必要があります。

2 調停の場合、当事者は待合室で待っていて調停委員が呼びに来ます。この際、当事者の名前が呼ばれる裁判所と、事件番号で呼ばれる裁判所があります。

3 調停委員は男性1名、女性1名の2名で担当します。

【目次】〔抜粋〕

第1部 離婚調停実況中継

#1 離婚調停で弁護士が果たすべき役割は？

- (1) 離婚調停の基礎知識
- (2) 離婚調停で代理人として活動するうえで持つべき心構え

#2 離婚調停期日でのやりとり実況中継

事例1 共働き・子どもなしの夫婦で夫の暴言などを理由に離婚を求めるケース

事例2 夫が不貞行為をしたと疑い自宅を出た妻から婚姻費用と離婚の調停を起こされたケース

事例3 熟年離婚での財産分与の取扱いと年金分割が争われたケース

事例4 小学生の子どもの親権、面会交流、養育費等が争われたケース

第2部 離婚相談実況中継

#1 離婚相談のポイント

- (1) 相談者に話してもらう内容を弁護士がコントロールする
- (2) 聞き取るべき事項は？
- (3) 解決に向けた方向性を示す
- (4) 共感を示す
- (5) 意見を押しつけない

#2 離婚相談のやりとり実況中継

事例1 基本的な離婚相談の流れ 離婚したい女編

事例2 基本的な離婚相談の流れ 取り残された男編

【商品概要】

『弁護士のための離婚調停&相談の実況中継～だから身に付く現場の経験知～』

著：弁護士 高井重憲・弁護士 荒井里佳

定価：3,850円(本体：3,500円+税10%)

ページ数：266頁

版型：A5判

商品紹介ページはこちら

第一法規ストアサイト

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104594.html?utm_source=prtmes

amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474078519>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17364580/>

発売元：第一法規株式会社

<https://www.daiichihoki.co.jp>

当プレスリリースURL

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000444.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第一部

lawyer_support@daiichihoki.com